

豊臣機工株式会社

環境報告書【2024年度実績】

2025年



環境マネジメント

代表あいさつ
会社概要
環境方針
推進体制

環境データ報告

第五次環境取り組みプラン
本社工場
額田工場
桑名工場

環境活動・社会貢献活動

工場緑化・クリーンエネルギーの採用
環境教育訓練
社会貢献活動

環境マネジメント

ごあいさつ

当社の事業内容は、自動車ボデー関係を主体とした量産部品と旧型補給部品（フェンダー、ドアなど）の生産や、プレス金型の設計・製作や試作部品など多岐に渡って事業を展開しております。

自動車産業が大きく変革期を迎える中、国連にて採択された「持続可能な開発目標（S D G s）」の達成に貢献することが重要と考えており、当社も「できること」「できそうなこと」から個々に行動を起こし、皆が豊かに暮らせる社会の実現に貢献していきます。

また、世界が目指すカーボンニュートラルに向けて当社としてもCO2排出量の削減が最重要課題と位置づけ、トップ主導で活動を進めております。

「環境」への取り組みは、I S O 1 4 0 0 1：2 0 1 5に基づく環境マネジメントシステムを構築し、さらに第6次環境取り組みプラン（2 0 2 1 年～2 0 2 5 年）を掲げ、公害防止委員会、廃棄物低減委員会、C N 推進会議、それぞれの委員会・会議を主体に、全員参加での環境保全活動を推進しております。



また当社は地域社会の一員であることを忘れることなく、環境保全活動を全社一丸で取組むと同時に、地域の皆さんとのコミュニケーションを大切にして、今後も経営理念の「誠実」な企業活動を推進してまいります。

豊臣機工株式会社
代表取締役社長

伴 雅紀

環境マネジメント

会社概要

社名 豊臣機工株式会社

創立 1960年（昭和35年）9月

本社所在地 〒446-8558
愛知県 安城市 今本町 東向山7番地

TEL：(0566) 97-9131

資本金 4億8千万円

国内工場 本社工場（安城市）・額田工場
いなべ部品工場・桑名工場

従業員数 1,791人（2025年4月1日 現在）

事業内容 自動車ボデー部品の製造・販売

HP <http://www.toyotomi-kiko.co.jp/>



環境保全活動スローガン

明日の地球を考える
みんなが主役の環境活動

環境マネジメント

当社では『環境方針』を定め、また環境保全スローガンを掲げて、環境保全活動の維持・継続的改善に取り組んでいます。

環境方針

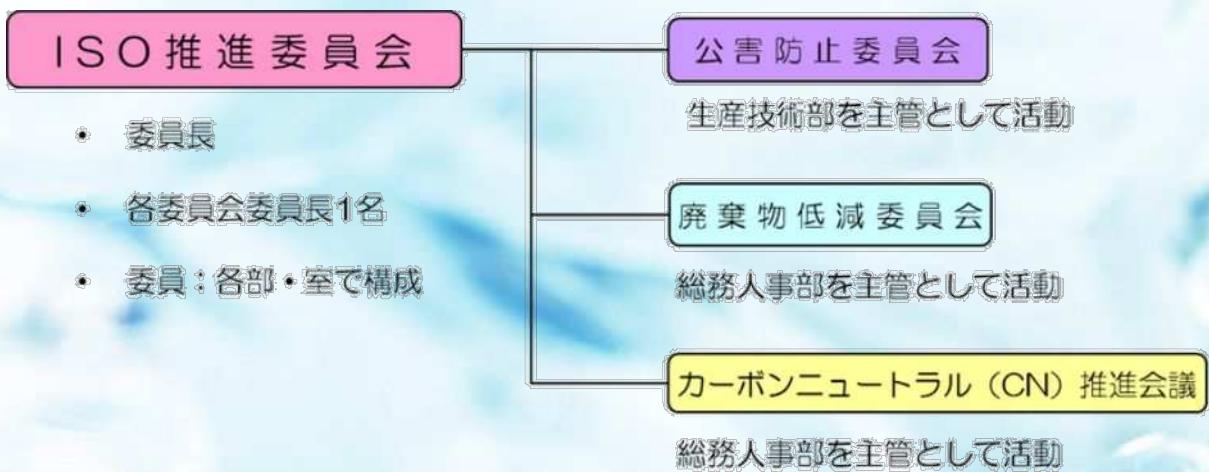
1. 国・地方公共団体等の環境に関する法規及びその他の要求事項を遵守し、汚染の予防に努めます。
2. 生産活動により環境へ及ぼす影響を予測・評価し、環境保全のための目的・目標を設定および達成するための活動を推進し、状況により目的、目標の見直しを実施します。
3. 会社が行う事業活動が、環境に影響を与える以下の項目について活動に取り組みます。
 - ① 地球温暖化防止のため、工場・オフィスの使用エネルギーの節減を推進します。
 - ② 資源の有効活用のため、排出物の削減と再資源化を推進します。
 - ③ 環境汚染の防止を図るため、化学物質等の適切な管理に努めます。
4. 地域社会との環境調和を図ると共に、環境方針の定期的な見直しを実施して継続的改善を行います。
5. 環境方針の実効をあげるため、計画的に教育、啓蒙活動を行い全従業員への周知徹底を図ります。

豊臣機工株式会社 代表取締役社長

伴 雅紀

環境マネジメント

推進体制



環境マネジメントシステムと国際規格への対応

1999年11月 環境マネジメントシステム構築の取り組み開始

2001年5月 ISO14001国際規格の認証を取得

2004年～2016年5月 三ヶ年毎に認証登録を更新

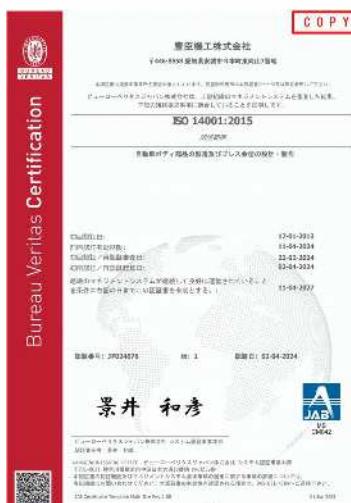
2018年4月 認証登録を更新（2015年度版）

2021年4月 認証登録を更新

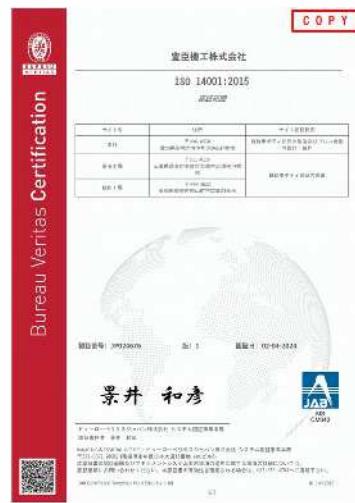
2024年4月 認証登録を更新

2025年4月 認証登録を更新

ISO14001認定証



【有効期限】
2027年4月



【認定工場】
本社工場
額田工場
桑名工場

環境マネジメント

第六次取り組みプラン（2021年度～2025年度）

環境への取り組みを全社的に体系化し

着実に反映する為、2021年度から

第六次環境取り組みプランへ更新し、

活動を進めて行きます。

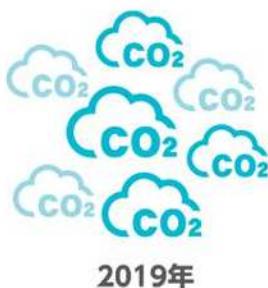


～CO₂削減チャレンジ2030～を宣言しました



豊臣機工 CO₂削減チャレンジ2030

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



活動の3本柱

日常改善 設備導入 再エネ活用

全員参加で未来へチャレンジ！

40%削減 (19年比)



2030年

豊臣機工は2030年CO₂▲40%にチャレンジします(19年比)



創立70周年

環境データ報告

第六次 環境取り組みプラン (2024年度 実績)

①CN推進会議



エネルギーを効率的に使用し、電力・燃料の低減を行い、地球温暖化の防止に寄与する。

【主な取り組み】

- エアーリークリーナーの導入
 - 太陽光発電の導入・拡大
- ⇒額田TMLN工場と型保全工場に計236kW追加
- 工場・事務所 照明のLED化
 - 本館：省エネタイプの空調機器へ更新
 - CO2削減 中期目標（2030年）達成に向けた活動

【CO2排出量】

2030年までにCO2総排出量を、パリ協定に適合する目標値として2019年比40%削減に設定した。

年次目標は中期目標マイルストーンに準じる。

削減のため、活動の下記3本柱を推進していく。

<①日常改善>

- 運用改善などの省エネ活動導入

<②省エネ/再エネ設備導入>

- 省エネ機器への設備更新
- 太陽光パネル等の再エネ設備導入

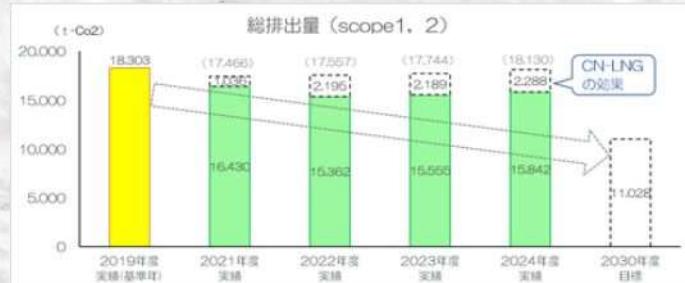
<③再生可能エネルギー活用>

- CO2排出フリー電力・LNGなどの導入



エアーリークリーナー

額田 太陽光発電



2024年度 CO2排出量 (scope3) (ton)		
カテゴリ1	購入した製品・サービス	516,073
カテゴリ2	資本財	15,636
カテゴリ3	エネルギー関連活動	3,045
カテゴリ4	輸送、配送（上流）	3,853
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	474
カテゴリ6	出張	352
カテゴリ7	雇用者の通勤	1,804
カテゴリ8	リース資産（上流）	対象外
カテゴリ9	輸送、配送（下流）	対象外
カテゴリ10	販売した製品の加工	対象外
カテゴリ11	販売した製品の使用	対象外
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	562
カテゴリ13	リース（下流）	対象外
カテゴリ14	フランチャイズ	対象外
カテゴリ15	投資	522
総計		542,320

【エネルギー消費原単位】

「エネルギー使用の合理化等に関する法律（省エネ法）」

に基づくエネルギー使用状況届出と、

同目標のエネルギー消費原単位（kL/百万円）

前年比1%以上の低減活動は継続し、評価する。

<2024年度 実績>

エネルギー消費量は、原油換算にて約3.0%増であった。

エネルギー原単位こそ前年比1%減は達成したが、

下げ幅が小さくなっており、引き続き省エネ改善に尽力する。



環境データ報告

第六次 環境取り組みプラン (2024年度 実績)

②廃棄物低減委員会



ゼロエミッションを目標とする。

紙類・プラスチック類を中心に再資源化を進め、
廃棄物量を低減し、環境保護に寄与する。



【主な取り組み】

- 塗装スラッジ（埋立ゴミ）をセメント材料としてリサイクル化
- 硬質プラスチックの高温焼却
- 陶磁器・ガラス類の粉碎および選別によるリサイクル化
- 廃棄物の分別徹底による焼却ゴミの低減
- 持ち込みゴミの持ち帰り運動

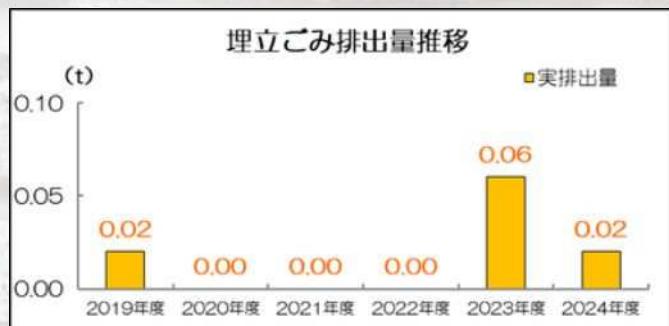
【埋め立てごみ】

- 2021年～<第6次 環境取り組みプラン>

目標：ゼロエミッション

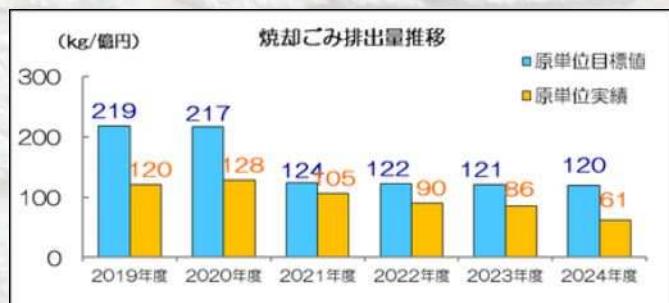
2024年度実績 0.02トンを排出。再度ゼロエミッション

達成のため、廃棄物低減委員会で対策を検討・実施



【焼却ごみ】

- 環境目的 2017～2019年度までの平均実績比5%以上低減
- 2024年度目標 119.9kg/億円 以下
- 2024年度実績 61.3kg/億円 で目標達成



③補給金型再資源活用（プロジェクトチーム活動）



2005年以降、「補給金型再資源活用」は生産管理部の定常活動として継続しています。

【主な取り組み】

旧型補給の一括生産を提案し、旧型金型を新規の金型の再製作に供する。

<2019～2024年度 実績>

年度	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
金型再利用実績 (t)	6,601	7,913	4,078	6,886	5,858	7,633

環境データ報告

第六次 環境取り組みプラン (2024年度 実績)

④公害防止委員会



大気・水質・臭気・騒音・振動の定期測定と自主基準値管理による異常の未然防止。

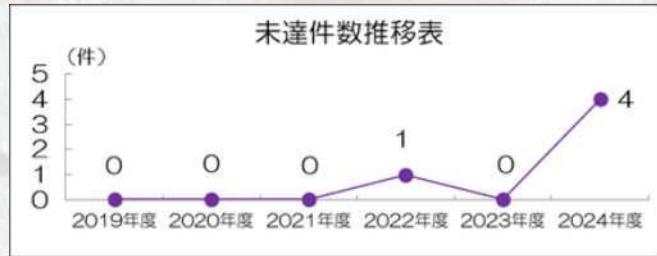
【主な取り組み】

- 確実な定期測定と異常時の対応

※環境データはP. 9~10に記載

<環境目的・目標>

法規制値・自主基準値の未達件数 0件

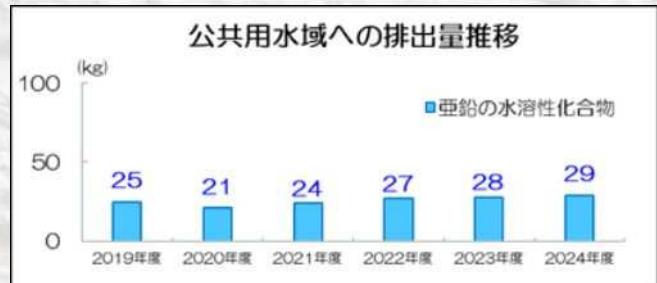


【化学物質管理の充実】

『化学物質等管理規程』『環境保全指定施設管理規程』を策定し、毒物劇物の管理から下記報告に至るまで、規程通り維持されている事を確認する。

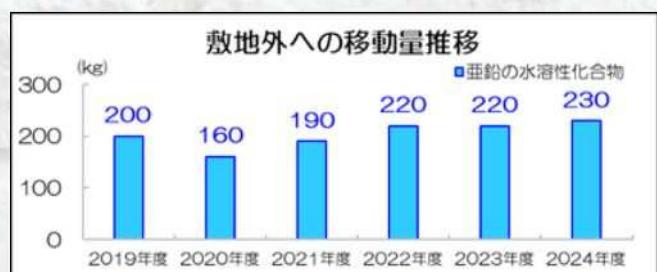
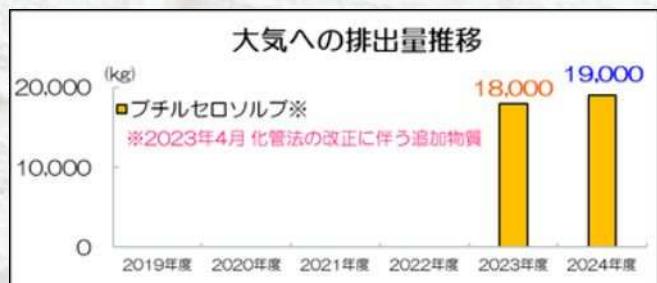
- PRTR制度に基づく排出量・移動量の報告
- 県民の生活環境の保全等に関する条例に基づく取扱量の報告

1) PRTR制度 第一種指定化学物質排出量及び移動量の届出
大気への排出として前年と同様に『ブチルセロソルブ』が計上された。移動量は例年通り『亜鉛の水溶性化合物』のみ



2) 県条例 特定化学物質取扱量の届出

2024年度の社内届出対象物質は『亜鉛の水溶性化合物』と『ブチルセロソルブ』の2物質となった



環境データ報告

本社工場

水質

対象施設：排水処理施設・酸又はアルカリによる表面処理施設 3基・し尿浄化槽
安城市公害防止上協定に基づく下記5項目の測定と報告の実施 1回/月

項目	法規制	県条例	安城市協定	自主基準値	実績		
					最小値	最大値	評価
pH（水素イオン濃度）	5.8~8.6	-	6.0~8.5	6.2~8.2	6.8	7.3	○
BOD（生物化学的酸素要求量）	160 mg/L以下	25	20	16	1.2	17.0	△
SS（浮遊物質量）	200 mg/L以下	30	20	16	<0.5	6.0	○
n-ヘキサン（油分）	5 mg/L以下	-	4.0	3.2	0.0	2	○
大腸菌群数	3000 個/cm ³ 以下	-	1,000	800	30 未満	30 未満	○

更に下記15項目について、毎年10月に測定を実施し安城市へ報告。協定値範囲内を継続中。
フェノール・銅・亜鉛・溶解性鉄・溶解性マンガン・クロム・フッ素・カドミウム・シアン・有機リン・鉛・六価クロム・砒素・総水銀・アルキル水銀

大気

対象施設：貫流ボイラー 6基

安城市公害防止上協定に基づく測定と報告の実施 毎年9月・翌年3月の 2回/年

項目	法規制	県条例	安城市協定	自主基準値	施設	測定値	評価
ばいじん	対象外	0.30 g/m ³ N 以下	0.20 g/m ³ N 以下	0.16 g/m ³ N 以下	1号機	0.001 未満	○
					2号機	0.001 未満	○
					3号機	0.001 未満	○
					4号機	0.001 未満	○
					5号機	0.001 未満	○
					6号機	0.001 未満	○

臭気

対象施設：塗装乾燥炉

安城市公害防止上協定に基づく測定と報告の実施 每年10月・翌年3月の 2回/年

項目	法規制	県条例	安城市協定	自主基準値	実績	
					測定値	評価
臭気指数 敷地境界 風上	15 以下	15 以下	15 以下	12 以下	10 未満	○
臭気指数 敷地境界 風下	15 以下	15 以下	15 以下	12 以下	10 未満	○

環境データ報告

額田工場

水質

対象施設：し尿浄化槽

岡崎市公害防止上協定に基づく下記6項目を毎月測定 更に毎年6月に岡崎市への報告の実施

項目 測定：2025年4月	法規制	県条例	岡崎市協定	自主基準値	実績	
					測定値	評価
pH（水素イオン濃度）	水質に関する 特定施設がないため 法規制・県の条例に 該当なし		5.8~8.6	6.2~8.2	7.3	○
BOD（生物化学的酸素要量）			20 mg/L以下	16 mg/L以下	3.9	○
COD（化学的酸素要求量）			20 kg/日以下	16 kg/日以下	11.0	○
SS（浮遊物質量）			20 mg/L以下	16 mg/L以下	9.0	○
n-ヘキサン（油分）			2.0 mg/L以下	1.6 mg/L以下	0.6	○
大腸菌群数			300 個/cm³以下	240 個/cm³以下	30個/cm³未満	○

桑名工場

水質

対象施設：し尿浄化槽

桑名市公害防止上協定に基づく下記7項目を毎年10月・翌年4月の2回/年測定

更に毎年4月に桑名市へ報告の実施

項目 測定：2025年4月	法規制	県条例	桑名市協定	自主基準値	実績	
					測定値	評価
pH（水素イオン濃度）	水質に関する 特定施設がないため 法規制・県の条例に 該当なし		5.8~8.6	6.2~8.2	6.9	○
BOD（生物化学的酸素要量）			15 mg/L以下	12 mg/L以下	1.4	○
COD（化学的酸素要求量）			25 kg/日以下	20 kg/日以下	9.5	○
SS（浮遊物質量）			30 mg/L以下	24 mg/L以下	6.0	○
T-P（りん汚濁負荷量）			8.0 mg/L以下	6.4 mg/L以下	0.1	○
T-N（窒素汚濁負荷量）			60 mg/L以下	54 mg/L以下	16.0	○
大腸菌群数			3000 個/cm³以下	2400 個/cm³以下	20未満	○



額田工場・桑名工場には、大気・臭気の項目に該当する設備がないため省略

対象設備設置時に測定を実施

環境活動



食堂の窓辺



工場の窓辺



太陽光発電システム



整備された緑の歩道

緑地面積を増やすために一部区画を緑の歩道に整備。

窓辺のグリーンカーテンは毎年植え替えて夏の暑さを和らげます。

環境活動

新入社員研修



環境教育訓練



緊急事態が発生する可能性のある14施設を特定し、年間計画に織り込んで緊急事態対応訓練を実施。

地域美化活動

【地域清掃活動】

工場周辺に落ちている
空缶やタバコの吸い殻等を拾い
キレイな地域を目指します。
(労働組合と会社が合同で実施)



【発行】



豊臣機工株式会社

総務人事部 総務室

作成日：2025年9月19日